

2023 年度事業計画

1. 事業活動方針

債券市場における金利低迷により、本年度の財源確保は債権の利息収入(約 900 万円)と運用財産の取り崩し(約 1,000 万円)に依ることになりますが、主たる事業である助成金金額の規模は昨年度並みの「1,000 万円」とします。

また、日揮グループ内外へ当財団の周知を図るため、「外部発信の強化」を行います。

2. 事業内容

2.1 社会福祉団体及び社会福祉関係のボランティア活動団体の支援

(1) 神奈川県下の障害者又は高齢者に関わる社会福祉活動を行う事業団体、ボランティア団体等を支援するために助成金を支給する。

① 実施時期

5 月 助成応募申請受付(受付期間1ヶ月)

7 月 審査委員会で助成先を選考、助成額を決定し、その結果をもとに理事会で審議、最終決定。

8 月 決定通知の発送及び助成金交付開始

2 月末 助成金交付締め切り

② 助成金の使途および助成金上限額

・機器・設備購入費 : 上限 40 万円

・事業活動費(年間活動諸経費の不足、年中行事経費等): 上限 10 万円

尚、周年記念行事やその年に限り特別に実施するイベント等の場合は 10 万円加算し上限 20 万円

③ 助成金総額 1,000 万円は以下の3つの対象区分に分ける。それぞれの区分に対する助成金額と助成先団体数は以下を目途とするが、応募状況により調整する。

ア) 社会福祉事業団体(法人団体、当事者団体及びその上部団体又はこれに準ずる団体、地域活動支援センター等の諸施設)への支援
合計助成金額 600 万円、助成先団体数 35。

イ) 社会福祉ボランティア団体(市民ボランティア活動団体、当事者保護者団体等)への支援
合計助成金額 300 万円、助成先団体数 20。

ウ) その他社会福祉活動(上記ア)、イ)以外の必要と認められた社会福祉活動を行う団体等)への支援
合計助成金額 100 万円、助成先団体数 5。

(2) 神奈川県福祉作文コンクール活動後援

(社福)神奈川県社会福祉協議会と(社福)神奈川県共同募金会が協賛、主催する県福祉作文コンクールへの後援、および、審査会への参加。

- ① 対象：県内小学生・中学生
- ② 助成の範囲：コンクールでの最優秀賞に対する記念品の支給助成。
- ③ 助成額：約2万円。
- ④ 時期：主催者の計画による。
9月 募集締切、11月 審査会、12月 表彰式
- ⑤ その他：財団名の周知のため、賞の名称を「ふれあい賞」から「日揮」を冠した名称への変更を依頼する。

(3) 助成先交流会・助成先訪問

- ① 助成先交流会
助成ニーズの把握と次年度以降の助成の在り方の研究。助成先同士の交流。
 - ・時期：2023年10月または11月に1回実施。
 - ・交流団体数：1回あたり6～8団体。
- ② 助成先訪問
2023年度助成した団体又はボランティア団体の内4～5ヶ所を目途に、助成の実施確認と助成先の状況を視察。

2.2 外部発信の強化

ここ数年助成への応募数が低調である一因として、当財団の活動の地域社会へのアピールが少ないことが挙げられる。当財団の存在を日揮グループ内社員でさえ知らないのが実態である。以下の施策案について取捨選択して実行し、財団活動の発信を強化する。

日揮グループ外向け

- ・神奈川県福祉作文コンクールの賞名の変更
- ・財団ステッカーの助成先への配布(助成金で購入した機器・設備に貼ってもらう)
- ・財団ホームページの充実と更新頻度増
- ・フェイスブックなどSNSの利用
- ・社会福祉関連団体ホームページへのリンク拡大
- ・オウンドメディア“サステナビリティ ハブ”への記事掲載

日揮グループ内向け

- ・本社内ポスター掲示(実施中)
- ・JGC Portalへのホームページリンク掲載(実施中)
- ・JGCニュースへの記事掲載

3. その他、財団外の活動への参加(社福)神奈川県社会福祉協議会が行っている以下の3つの事業の助成事業等検討委員会に常務理事が検討審査委員として参加。
- ・地域福祉活動支援事業
 - ・萬谷子ども福祉基金入学支度金審査
 - ・かながわ交通遺児等援護基金審査

以上